

低コスト林業機械リース等支援事業計画

1 事業の目的

記載例) 機械リースを活用し、素材生産の低コスト化及び素材生産体制の強化を目指す。

2 事業の概要

(1) 事業計画

事業区分	事業主体	林業機械名称	規格	数量	事業費 千円	事業費内訳			備考
						県費 千円	市町村費 千円	その他 千円	
機械整備									
リース・レンタル									
運送料 (回送料)									

2 数量欄は台数及び期間を記載すること。

3 トランク (4t~10t) 整備の場合は、積込機械を保有している場合は「積込機械保有」、また、積込機械をリース・レンタルする場合は「リース等」と備考欄に記入すること。

(2) 素材生産量及び作業システム

区分	現状 (平成24年度)	目標	伸び率	備考
素材生産量	m3	m3	%	現状の素材生産量について、平成24年度実績がない場合は、前年度の素材生産実績量を記載すること。リース・レンタル支援の場合は、事業実施年度の素材生産目標が、10%以上の伸び率であること。
作業道開設延長	m/台	m/台	%	支援対象となるバックホウを用いて自らが行う開設延長を記載すること。ただし、2,500m/年・台以上であること。
木材運搬量	m3/台	m3/台	%	支援対象となるトランクを用いて自らが運搬する素材量を記載すること。ただし、概ね1,800m3/年以上の木材を運搬し、かつ、700m/年以上の搬出量の増であること。
作業システム	伐採機械	例) チェーンソー	例) チェーンソー	各事業体が主とするシステムを記載するものとし、使用する林業機械名称を記載すること。なお、目標欄は現状システムから変更がある場合に記載すること。
	集材機械	ワインチ	スイングヤーダ	
	造材機械	プロセッサ	プロセッサ	
	積込機械	フォワーダ	フォワーダ	
	運搬機械	フォワーダ	フォワーダ	
保有林業機械台数	スイングヤーダ	台		
	ハーベスター	台		
	プロセッサ	台		
	グラップル	台		
	フォワーダ	台		

注1 事業体が自らが実施する施業について記載すること。

2 目標欄には、事業実施年度においては事業実施年度末を記載し、達成状況報告年度においては各

3 保有林業機械台数には、実働可能な林業機械台数を記載すること。

3 事業着手予定年月日
平成 年 月 日

4 事業完了予定年月日
平成 年 月 日